

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第35号 平成25年10月27日

綺麗に決まった6回の攻撃

一つの失策が勝利を逃す・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	1	0	0	0	0	1	2	4
G	0	0	0	0	0	2	0	2



10/27(日) 清水ヶ丘公園野球場にて、スモールデスクスとオープン戦を行った。最近継続している、投手がゲームを作る、をテーマに、今日のゲームも始まった。その先発は連脇がマウンドに上がりプレイボール、その入りは、ストライクから。しかし、2球目を強振され打球は、左中間に2ベースを打たれる。後続には、5球目を同様に左中間に運ばれ、2本の長打で先制を許した。しかし、その後の3人は、サードの好守備もあり、三人で抑え、失点は1点に止めた。そこから4回終了まで、ともに出塁するも後続が続かず、残塁の山を築く。ゲームは、5回からマウンドを光希に譲り、相手チームの攻撃、先頭は空三振に斬るも、何と後続三人に与四球で一死満塁とピンチを迎えた。しかし、ここから冷静に後続を打ち取り、結果この回を0点に抑えた。ゲームが動いたのは、6回の相手攻撃、この回先頭に三塁線の2ベースを打たれ、無死二塁。次打者の時にPBで3塁に進塁を許す。しかし、この打者は投ゴロに斬る。続く打者も遊ゴロに打ち取ったが、一塁手が正規に捕球出来ず、この間に三塁走者が生還し、1点を失点した。尚、このプレーで一塁手浅沼は負傷退場し、急遽政司が一塁に入る。がこのベースランナーを梶原がセカンドで刺し、盗塁を許さなかった。そして次打者を空三振に斬り、最少失点の1点にこの回を留めた。ピンチの後には、チャンスが訪れ、この回先頭の哲也が相手失策で出塁、その後2番打者の時にPBで二塁進塁、そして打合せとおり、深沢が犠打を決めたか、と思ったが、これが絶妙なバントになり、結果無死一・三塁とした。この場面に光希が中飛の犠打を放つ、やや浅かった打球で有るが、哲也の好走塁で1点を返す。後続は倒れ二死三塁となったが、5番梶原のセカンドゴロを野手が失策し、2点目を挙げ同点とした。が、ゲームは一つの失策で流れが変わる。最終回の先頭打者を空三振に斬ったが、後続のセカンドゴロを野手が一塁に送球エラーで出塁を許す。そして、連続2打者に2連続3ベースを打たれ、2点を失う。最終回に逆転を狙う我がチームであるが、相手チームはここでエースの投入、その投手が2連続三振&内野ゴロでしっかり抑え、結果今日のゲームを落してしまっ

やはり、今日のゲームは終盤の失策であろう。

起きる可能性の有るプレーだが、捕球は出来ているので、後は送球だけ、捕って・投げるという基本プレーなので、この辺は、しっかりキャッチボールでの修正であろう。また残塁も気になる、何とか出塁をしても、ボンボン打ち上げては、送球という相手プレーにも繋げられない。投手がそこそこゲームを作っていただけに、野手・打者の工夫の無さが今日のゲームを落したのだろう。もし本戦だったなら、非常に悔やまれる内容なので、しっかりこなすプレーはしっかりこなさなければ、と感じるゲームであった。